

第20回 議会報告会を開催 ご参加ありがとうございました

平成29年2月4日(土)、中央公民館にて第20回議会報告会を開催しました。当日は、約60名の参加で、第1部は愛知学院大学小林明夫教授による記念講演を行い、第2部の「市民との意見交換」では、次のような質疑がありました。

上重原北部地区の開発

問 アメリカの経済政策の転換が、今後日本の産業に与える影響は大きく、産業の停滞が予想される。更に、少子高齢化の進展する中、日本の産業は、現状維持すら危うい状態の中で、企業の誘致を指す上重原北部開発は考えられない。更に、地権者の高齢化も進み、工場地区として指定された場合、相続に関して深刻な事態が予想されるが。

答 議会では、工業系ではなく住居系にならないか、との質問もあった。県の用途地域変更のガイドラインでは、合理的な理由があれば、変更の可能性もあるが、現状としては極めて難しい。

昭和交番の今後

問 昭和交番の存続について、1月16日に、市長と議長で安城署に出向いた際、今後は連絡所として建物を存続させるとのことだが詳細は。

答 県は、建物を利用し警備体制の強化に努めるとの方針。

昼間は警察官OBを相談員として配置する。谷田交番にミニパトを1台増車し警備、巡回を充実させる。

知立駅周辺整備

問 駅前の整備事業について市民の理解を得ながら幅広く意見を反映できるように、資料の提供に努め事業推進についての市民フォーラムなどの開催が必要では。

答 知立駅周辺整備特別委員会の中で市側から、現在進められているプロジェクトの意見を集約して3月には一定の具体案が示せる、との答弁を得ている。駅北地区の再開発



第1部記念講演



第2部市民との意見交換会

ビルは平成30年完成を目指している。西新地地区については、現在地権者と協業中。鉄道連続立体交差事業については、仮線が3月中に完成の予定だったが若干遅延が予想される。完成次第、本体工事に着手すること。駅前広場についても意見集約が課題となっている。今後は議会としての確かな事業の推進に向けて提言していきたい。



募集

市議会だより

こんにちは知立市議会です

表紙写真

市議会だよりの表紙の写真を募集します。

テーマ 季節の風景、まちかどで発見
(知立市内)

締切 平成29年8月1日号 ▶ 6月30日メ切
平成29年11月1日号 ▶ 9月30日メ切

■応募方法

郵便番号、住所、氏名、電話番号、写真の撮影場所、撮影日時、写真の説明(タイトル等)をご記入の上、メールまたは郵送(LLプリント)にて、知立市議会事務局(市議会だより編集委員会)までお送りください。

■応募条件

カラー未発表のものに限ります。被写体が人物の場合は、本紙掲載について、本人(未成年の場合は、親権者)の同意が必要です。写真は返却致しません。また、写真の著作権は知立市議会に帰属しますのでご了承ください。
※採用作品につきましては表紙に掲載いたします。

◆表紙への掲載内容

採用写真、タイトル、応募者氏名、住所(町名まで)

▼送り先

知立市議会事務局(市議会だより編集委員会)
〒472-8666 知立市広見三丁目1番地
電話 95-0137 FAX 83-5565
E-mail : gikai@city.chiryu.lg.jp